

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解			
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。			(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。			

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー									
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
1	チュートリアル	通年	演習				○	○	○	○	○	○	○
2	Global English	通年	講義	○		○							
3	基幹演習Ⅰ	前期	演習	○			○	○	○	○	○	○	
4	基幹演習Ⅱ	後期	演習		○		○	○	○	○	○	○	
5	専門演習	通年	演習		○		○	○	○	○	○	○	○
6	卒業論文演習	通年	演習	○	○		○	○	○	○	○	○	○
7	国際関係論（※国際関係学科生用）	半期	講義	○									
8	比較文化論（※国際文化学科生用）	半期	講義	○									
9	東アジア地域研究 1（東アジアの国際関係）	半期	講義	○								○	
10	東アジア地域研究 2（東アジアの現代政治）	半期	講義	○								○	
11	東アジア地域研究 3（東アジアの文化）	半期	講義	○								○	
12	東アジア地域研究 4（東アジアの芸術）	半期	講義	○								○	
13	東アジア地域研究 5（中国経済発展論）	半期	講義	○								○	
14	東アジア地域研究 6（中国経済の課題と展望）	半期	講義	○								○	
15	東アジア地域研究 7（朝鮮半島の社会と文化）	半期	講義	○								○	
16	東アジア地域研究 8（朝鮮半島の歴史）	半期	講義	○								○	
17	東アジア地域研究 9（東アジアの法と社会）	半期	講義	○								○	
18	東アジア地域研究 10（東アジアの法と経済）	半期	講義	○								○	
19	東南アジア地域研究 1（東南アジア政治論）	半期	講義	○								○	
20	東南アジア地域研究 2（東南アジアと国際政治）	半期	講義	○								○	
21	東南アジア地域研究 3（東南アジア経済とグローバル化）	半期	講義	○								○	
22	東南アジア地域研究 4（東南アジアの暮らしと経済）	半期	講義	○								○	
23	東南アジア地域研究 5（東南アジア近代史）	半期	講義	○								○	
24	東南アジア地域研究 6（東南アジア現代史）	半期	講義	○								○	
25	東南アジア地域研究 7（東南アジアの宗教と社会）	半期	講義	○								○	
26	東南アジア地域研究 8（東南アジアの生活文化）	半期	講義	○								○	
27	東南アジア地域研究 9（オセアニアの文化）	半期	講義	○								○	
28	東南アジア地域研究 10（オセアニアの社会）	半期	講義	○								○	
29	南アジア地域研究 1（インド経済論）	半期	講義	○								○	
30	南アジア地域研究 2（南アジア諸国の経済事情）	半期	講義	○								○	
31	南アジア地域研究 3（南アジアの社会と格差）	半期	講義	○								○	
32	南アジア地域研究 4（南アジアの開発と環境）	半期	講義	○								○	
33	南アジア地域研究 5（南アジア近現代史）	半期	講義	○								○	
34	南アジア地域研究 6（南アジアの文化と芸能）	半期	講義	○								○	
35	南アジア地域研究 7（南アジアの現代政治）	半期	講義	○					○	○		○	

カリキュラムマップ：国際関係学部 国際関係学科（2022年度）

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。		

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー											
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)		
36	南アジア地域研究 8（南アジアの国際関係）	半期	講義	○				○	○				○		
37	南アジア地域研究 9（シルクロード文化論）	半期	講義	○									○		
38	南アジア地域研究 10（中央アジアの社会）	半期	講義	○									○		
39	西アジア地域研究 1（西アジア・イスラム国家の歴史）	半期	講義	○									○		
40	西アジア地域研究 2（西アジア・イスラム社会の歴史）	半期	講義	○									○		
41	西アジア地域研究 3（西アジア近代史）	半期	講義	○									○		
42	西アジア地域研究 4（西アジアの暮らしと社会）	半期	講義	○									○		
43	西アジア地域研究 5（中東現代政治）	半期	講義	○									○		
44	西アジア地域研究 6（中東と国際関係）	半期	講義	○									○		
45	西アジア地域研究 7（西アジア経済史）	半期	講義	○									○		
46	西アジア地域研究 8（西アジア経済事情）	半期	講義	○									○		
47	西アジア地域研究 9（西アジアの芸術）	半期	講義	○									○		
48	西アジア地域研究 10（西アジアの文化）	半期	講義	○									○		
49	中国語 1	(Aコース)	前期	講義	○		○								
50	中国語 1	(Bコース)	前期	講義	○	○									
51	中国語 2	(Aコース)	後期	講義	○		○								
52	中国語 2	(Bコース)	後期	講義	○		○								
53	中国語 3	(Aコース)	前期	講義	○		○								
54	中国語 3	(Bコース)	前期	講義	○		○								
55	中国語 4	(Aコース)	後期	講義	○		○								
56	中国語 4	(Bコース)	後期	講義	○		○								
57	中国語 5	(Aコース)	前期	講義	○		○								
58	中国語 5	(Bコース)	前期	講義	○		○								
59	中国語 6	(Aコース)	後期	講義	○		○								
60	中国語 6	(Bコース)	後期	講義	○		○								
61	中国語 7	(Aコース)	前期	講義	○		○								
62	中国語 7	(Bコース)	前期	講義	○		○								
63	中国語 8	(Aコース)	後期	講義	○		○								
64	中国語 8	(Bコース)	後期	講義	○		○								
65	中国語 9	(Aコース)	前期	講義	○		○								
66	中国語 9	(Bコース)	前期	講義	○		○								
67	中国語 10	(Aコース)	後期	講義	○		○								
68	中国語 10	(Bコース)	後期	講義	○		○								
69	現地研修（中国）		前期	講義	○		○							○	
70	コリア語 1	(Aコース)	前期	講義	○		○								

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的な知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。		

NO	科目		開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
71	ロシア語 1	(Bコース)	前期	講義	○		○							
72	ロシア語 2	(Aコース)	後期	講義	○		○							
73	ロシア語 2	(Bコース)	後期	講義	○		○							
74	ロシア語 3	(Aコース)	前期	講義	○		○							
75	ロシア語 3	(Bコース)	前期	講義	○		○							
76	ロシア語 4	(Aコース)	後期	講義	○		○							
77	ロシア語 4	(Bコース)	後期	講義	○		○							
78	ロシア語 5	(Aコース)	前期	講義	○		○							
79	ロシア語 5	(Bコース)	前期	講義	○		○							
80	ロシア語 6	(Aコース)	後期	講義	○		○							
81	ロシア語 6	(Bコース)	後期	講義	○		○							
82	ロシア語 7	(Aコース)	前期	講義	○		○							
83	ロシア語 7	(Bコース)	前期	講義	○		○							
84	ロシア語 8	(Aコース)	後期	講義	○		○							
85	ロシア語 8	(Bコース)	後期	講義	○		○							
86	ロシア語 9	(Aコース)	前期	講義	○		○							
87	ロシア語 9	(Bコース)	前期	講義	○		○							
88	ロシア語 1 0	(Aコース)	後期	講義	○		○							
89	ロシア語 1 0 (Bコース)	(Bコース)	後期	講義	○		○							
90	現地研修 (韓国)		前期	講義	○		○							○
91	インドネシア語 1		前期	講義	○		○							
92	インドネシア語 2		後期	講義	○		○							
93	インドネシア語 3		前期	講義	○		○							
94	インドネシア語 4		後期	講義	○		○							
95	インドネシア語 5		前期	講義	○		○							
96	インドネシア語 6		後期	講義	○		○							
97	インドネシア語 7		前期	講義	○		○							
98	インドネシア語 8		後期	講義	○		○							
99	インドネシア語 9		前期	講義	○		○							
100	インドネシア語 1 0		後期	講義	○		○							
101	現地研修 (インドネシア)		前期	講義	○		○							○
102	タイ語 1		前期	講義	○		○							
103	タイ語 2		後期	講義	○		○							
104	タイ語 3		前期	講義	○		○							
105	タイ語 4		後期	講義	○		○							

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解			
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。			(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的な知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。			

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
106	タイ語 5	前期	講義	○		○							
107	タイ語 6	後期	講義	○		○							
108	タイ語 7	前期	講義	○		○							
109	タイ語 8	後期	講義	○		○							
110	タイ語 9	前期	講義	○		○							
111	タイ語 10	後期	講義	○		○							
112	現地研修（タイ）	前期	講義	○		○							○
113	ベトナム語 1	前期	講義	○		○							
114	ベトナム語 2	後期	講義	○		○							
115	ベトナム語 3	前期	講義	○		○							
116	ベトナム語 4	後期	講義	○		○							
117	ベトナム語 5	前期	講義	○		○							
118	ベトナム語 6	後期	講義	○		○							
119	ベトナム語 7	前期	講義	○		○							
120	ベトナム語 8	後期	講義	○		○							
121	ベトナム語 9	前期	講義	○		○							
122	ベトナム語 10	後期	講義	○		○							
123	現地研修（ベトナム）	前期	講義	○		○							○
124	ヒンディー語 1	前期	講義	○		○							
125	ヒンディー語 2	後期	講義	○		○							
126	ヒンディー語 3	前期	講義	○		○							
127	ヒンディー語 4	後期	講義	○		○							
128	ヒンディー語 5	前期	講義	○		○							
129	ヒンディー語 6	後期	講義	○		○							
130	ヒンディー語 7	前期	講義	○		○							
131	ヒンディー語 8	後期	講義	○		○							
132	ヒンディー語 9	前期	講義	○		○							
133	ヒンディー語 10	後期	講義	○		○							
134	現地研修（インド）	前期	講義	○		○							○
135	アラビア語 1	前期	講義	○		○							
136	アラビア語 2	後期	講義	○		○							
137	アラビア語 3	前期	講義	○		○							
138	アラビア語 4	後期	講義	○		○							
139	アラビア語 5	前期	講義	○		○							
140	アラビア語 6	後期	講義	○		○							

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
141	アラビア語 7	前期	講義	○		○							
142	アラビア語 8	後期	講義	○		○							
143	アラビア語 9	前期	講義	○		○							
144	アラビア語 1 0	後期	講義	○		○							
145	現地研修（アラビア語圏）	前期	講義	○		○							○
146	英語 1 (Aコース)	前期	講義	○		○							
147	英語 1 (Bコース)	前期	講義	○		○							
148	英語 2 (Aコース)	後期	講義	○		○							
149	英語 2 (Bコース)	後期	講義	○		○							
150	英語 3 (Aコース)	前期	講義	○		○							
151	英語 3 (Bコース)	前期	講義	○		○							
152	英語 4 (Aコース)	後期	講義	○		○							
153	英語 4 (Bコース)	後期	講義	○		○							
154	英語 5 (Aコース)	前期	講義	○		○							
155	英語 5 (Bコース)	前期	講義	○		○							
156	英語 6 (Aコース)	後期	講義	○		○							
157	英語 6 (Bコース)	後期	講義	○		○							
158	英語 7 (Aコース)	前期	講義	○		○							
159	英語 7 (Bコース)	前期	講義	○		○							
160	英語 8 (Aコース)	後期	講義	○		○							
161	英語 8 (Bコース)	後期	講義	○		○							
162	英語 9 (Aコース)	前期	講義	○		○							
163	英語 9 (Bコース)	前期	講義	○		○							
164	英語 1 0 (Aコース)	後期	講義	○		○							
165	英語 1 0 (Bコース)	後期	講義	○		○							
166	現地研修（英語圏）	前期	講義	○		○							○
167	中国語Ⅰ	前期	講義	○		○							
168	中国語Ⅱ	後期	講義	○		○							
169	コリア語Ⅰ	前期	講義	○		○							
170	コリア語Ⅱ	後期	講義	○		○							
171	インドネシア語Ⅰ	前期	講義	○		○							
172	インドネシア語Ⅱ	後期	講義	○		○							
173	タイ語Ⅰ	前期	講義	○		○							
174	タイ語Ⅱ	後期	講義	○		○							
175	ベトナム語Ⅰ	前期	講義	○		○							

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的な知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
176	ベトナム語Ⅱ	後期	講義	○		○							
177	ヒンディー語Ⅰ	前期	講義	○		○							
178	ヒンディー語Ⅱ	後期	講義	○		○							
179	アラビア語Ⅰ	前期	講義	○		○							
180	アラビア語Ⅱ	後期	講義	○		○							
181	英語Ⅰ	前期	講義	○		○							
182	英語Ⅱ	後期	講義	○		○							
183	言語文化特殊講義1（英語）	半期	講義	○		○							
184	言語文化特殊講義2（英語）	半期	講義	○		○							
185	言語文化特殊講義3（英語）	半期	講義	○		○							
186	言語文化特殊講義4（英語）	半期	講義	○		○							
187	言語文化特殊講義5（TOEIC対策講座Ⅰ）	半期	講義	○		○							
188	言語文化特殊講義6（TOEIC対策講座Ⅱ）	半期	講義	○		○							
189	言語文化特殊講義7（中国語A）	半期	講義	○		○							
190	言語文化特殊講義8（中国語B）	半期	講義	○		○							
191	言語文化特殊講義9（コリア語A）	半期	講義	○		○							
192	言語文化特殊講義10（コリア語B）	半期	講義	○		○							
193	多文化共生入門	半期			○							○	○
194	国際協力・ボランティア入門	半期		○	○			○	○	○	○	○	○
195	マイノリティの文化論	半期			○							○	
196	開発経済学A	半期			○							○	
197	開発経済学B	半期			○							○	
198	農業食料問題A	半期			○							○	
199	農業食糧問題B	半期			○							○	
200	紛争論	半期			○							○	
201	国際法A	半期			○							○	
202	国際法B	半期			○							○	
203	国際政治学A	半期			○							○	
204	国際政治学B	半期			○							○	
205	国際社会学	半期			○			○	○			○	
206	多文化社会論	半期		○	○			○		○	○	○	○
207	地域福祉論	半期			○							○	
208	地域デザイン論	半期			○							○	
209	国際協力・多文化共生ワークショップ	半期			○						○	○	○
210	国際協力・多文化共生フィールドワーク	半期		○	○			○	○		○	○	○

ディプロマ・ポリシー												
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。			(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。				(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとするができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的な知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)
211	国際協力・多文化共生特殊講義1（問題解決学入門）	半期						○	○		○	○	○
212	国際協力・多文化共生特殊講義2（ナショナリズムと近代国家）	半期			○						○	○	○
213	国際協力・多文化共生特殊講義3（NGO活動論）	半期		○	○			○			○	○	○
214	国際協力・多文化共生特殊講義4（難民問題）	半期		○	○			○			○	○	○
215	国際協力・多文化共生特殊講義5（安全保障論）	半期			○						○	○	○
216	国際協力・多文化共生特殊講義6（DACIX I）	半期			○						○		○
217	国際協力・多文化共生特殊講義7（DACIX II）	半期			○						○		○
218	国際協力・多文化共生特殊講義8（DACIX III）	半期			○						○		○
219	国際協力・多文化共生特殊講義9（DACIX IV）	半期			○						○		○
220	国際協力・多文化共生特殊講義10（DACIX V）	半期			○						○		○
221	国際協力・多文化共生特殊講義11（DACIX VI）	半期			○						○		○
222	国際協力・多文化共生特殊講義12（DACIX VII）	半期			○						○		○
223	国際協力・多文化共生特殊講義13（DACIX VIII）	半期			○						○		○
224	国際協力・多文化共生特殊講義14（DACIX IX）	半期			○						○		○
225	国際協力・多文化共生特殊講義15（DACIX X）	半期			○						○		○
226	経済学基礎A（ミクロ）	半期			○							○	
227	経済学基礎B（マクロ）	半期			○							○	
228	経営学基礎	半期			○							○	
229	国際経済論A	半期			○							○	
230	国際経済論B	半期			○							○	
231	国際マーケティング論A	半期			○							○	
232	国際マーケティング論B	半期			○							○	
233	海外経営事情	半期			○							○	
234	アジア法A	半期			○							○	
235	アジア法B	半期			○							○	
236	インターンシップ・イン・アジア	半期			○					○		○	○
237	ホスピタリティ・マネジメント	半期			○					○		○	○
238	貿易実務講座	半期			○					○		○	○
239	企業と雇用A	半期			○			○	○	○	○	○	○
240	企業と雇用B	半期			○			○	○	○	○	○	○
241	国際ビジネス特殊講義1（旅行産業論）	半期			○					○		○	○
242	国際ビジネス特殊講義2（食品ビジネス論）	半期			○					○		○	○
243	国際ビジネス特殊講義3（SPI対策講座）	半期			○					○		○	○
244	国際ビジネス特殊講義4（インターンシップ準備講座）	半期		○	○			○	○	○	○	○	○
245	国際ビジネス特殊講義5（会計学入門）	半期			○					○		○	○

				ディプロマ・ポリシー									
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解			
(1)アジア諸地域の歴史・政治・経済・社会・芸術・文化に関する基本的かつ広範な知識を修得している。 (2)異文化への理解を基礎に、特定の専攻分野に関する専門的知識を修得している。 (3)教育研究上の目標の実現に相応しい英語およびアジア言語の運用能力（コミュニケーション能力）を有している。				(1)卒業論文等において、問題の発見・設定からその解決方法の提示にいたる一連の研究に取り組み、一定の成果をあげている。 (2)幅広い技術を活用して、さまざまな問題の発見・解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。 (3)リテラシーと批判精神を備えた文章表現や口頭表現、ディスカッションができる。			(1) 修得した専門的知識と技能をもって自ら発見した地域社会、国家、国際社会における諸課題の解決に取り組むことができる。 (2) 修得した専門的知識のみならず、語学力や諸分野の知識と理解を深め続けることにより、人間性を尊重する態度を養うことを意識しながら、身近な人のみならず見知らぬ人を助けようとする事ができる。 (3) 様々なことについて広く学び続けることを通じて、あるべき地域社会、国家、国際社会を模索し続けることができる。			(1)異文化理解や専攻分野に関する専門的知識を基礎に、国際社会に生起する諸事象を多面的に考察し、自らの意見を論理的に構成することができる。 (2)国際社会の一員として、現代世界の諸問題と持続的に向き合い、多文化共生社会の実現に向けて行動する意欲を有している。			

NO	科目	開講期間	授業形態	ディプロマ・ポリシー										
				DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP3(2)	DP4(1)	DP4(2)	
246	仏教文化論A	半期			○								○	
247	仏教文化論B	半期			○								○	
248	キリスト教文化論A	半期			○								○	
249	キリスト教文化論B	半期			○								○	
250	イスラム文化論A	半期			○								○	
251	イスラム文化論B	半期			○								○	
252	ヒンドゥー教文化論A	半期			○								○	
253	ヒンドゥー教文化論B	半期			○								○	
254	アジアの舞踊と身体文化A	半期			○						○			○
255	アジアの舞踊と身体文化B	半期			○						○			○
256	アジア伝統芸能論A	半期			○						○			○
257	アジア伝統芸能論B	半期			○						○			○
258	食の文化誌	半期			○								○	
259	アジア服飾文化論	半期			○								○	
260	アジアのポップカルチャー	半期			○								○	
261	アジアのジェンダー	半期			○								○	
262	クール・ジャパノロジー	半期			○								○	
263	文化財マネジメントⅠ	半期			○								○	
264	文化財マネジメントⅡ	半期			○								○	
265	異文化理解特殊講義1（比較文化史）	半期			○								○	
266	異文化理解特殊講義2（世界遺産講座Ⅰ）	半期			○						○		○	
267	異文化理解特殊講義3（世界遺産講座Ⅱ）	半期			○						○		○	
268	異文化理解特殊講義4（ガムラン合奏Ⅰ）	半期			○							○		○
269	異文化理解特殊講義5（ガムラン合奏Ⅱ）	半期			○							○		○